

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「先生、部活を取るべきか、勉強を取るべきか教えてください」というような相談を、僕は生徒さんから受けることがあります。

(1) **イ**

、皆さんが悩む気持ちはよくわかり

ます。部活でがんばって練習をした後に、試験に向けて勉強をすることが辛い気持ちになることもあるでしょう。先生に救いを求めたくなる気持ちも理解できます。でも、ちょっと待ってください。「部活を続けること」と「勉強」は本当に「二者択一」で考えなければならぬことなのでしょうか。二つの事柄の、どちらか一方を選ぶことを「二者択一」と言います。たとえば「日本で一番高い山は富士山である。イエスか、ノーか」というような問題は二者択一で考えることができるでしょう。

(2) **エ**

この種の問題はあらかじめ

答えが定められている問題だからです。

(3) **ウ**

絶対に正しい答えが出せる問題なので

(4) **オ**

、世の中を見渡してよく考えてみると、答えが定められている問題は案

外多くないのです。「部活を取るか、勉強を取るか」という問題も、その人の置かれた状況や性格などによって変わってきます。先生であるからといって正しい答えが出せるとは限りません。さらに重要なことは、そもそもこの問い方自体が間違っているかもしれないということです。ここで考えるべきことは「どうやったら部活と勉強を両立できるのか」であるかもしれないのです。(5) **ア** もしあなたが「二者択一」の問題で悩んでいることがあるなら、「これは二者択一で考えなくてもいい問題なんじゃないか」と疑ってみてください。そこから新しい道が開けることもあるかもしれません。

ア だから    イ なるほど    ウ 言い換えれば    エ なぜならば    オ ところが

(1) **イ** (意見をいったん認める)

(2) **エ** (理由の説明)

(3) **ウ** (言い換えて説明)

(4) **オ** (逆の内容)

(5) **ア** (原因から結果)



2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～クから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「一期一会(いちごいちえ)」という言葉は、(6) **キ** 茶道の心を説いた用語の一つでした。「茶会は毎回、一生に一度だという思いをこめて、主人も客も誠心誠意、真剣に行うべきだ」という意味です。そこから(7) **ク** 「一生に一度しかない出会い」「一生に一度かぎりであること」を指すようになりました。(8) **カ** ここで現代社会に目を向けてみましょう。宮崎駿監督の映画『天空の城ラピュタ』のテレビ放映時に、タイミングを合わせてセリフをツイッター上に投稿する「バルス祭り」と呼ばれる現象がありますが、ある限定された貴重な時間に多くの人々が参加するという構造は、(9) **コ** 「一期一会」です。スマートフォンやSNSの普及によって、かつては考えられなかったような形での出会いや参加が可能な時代となりました。(10) **ケ** 「一期一会」は手のひらの中の機械を使って行われているのです。

カ きて キ もともと ク 転じて ケ 今や コ まさに

(6) **キ** (はじめにあった意味)

(7) **ク** (意味が変わって)

(8) **カ** (話題を転換)

(9) **コ** (確かに当てはまることを強調)

(10) **ケ** (「かつて」に対して「今」のこと)